（別紙）

実務家教員育成研修プログラム受講申込書
（2025 年度版）

（申込書提出日：西暦 0000 年 00 月 00 日）

<table>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="3">○○○　○○○</td><td rowspan="6">写真
概ね 6 カ月以内に撮影された顔写真（データ）を張り付けてください。</td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td colspan="3">○○　○○</td></tr>
<tr><td>生年月日</td><td colspan="3">西暦　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>血液型</td><td colspan="3">○型</td></tr>
<tr><td>勤務先</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>地位・職名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>勤務先
所在地</td><td colspan="4">〒</td></tr>
<tr><td>現住所</td><td colspan="4">〒</td></tr>
<tr><td>本籍地</td><td colspan="4">都道府県名を記入してください。</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td colspan="4">個人に連絡がつく番号（携帯電話等）を記入してください。</td></tr>
<tr><td>メール</td><td colspan="4">添付ファイルが受信可能な個人メールアドレスを記入してください。</td></tr>
<tr><td>保有資格</td><td colspan="4">建設関係の技術資格（学位を含む，公的資格優先）のうち，現在保有しているものを記入してください。</td></tr>
<tr><td>最終学歴</td><td colspan="2">0000 年 00 月</td><td colspan="2">○○大学大学院○○研究科○○専攻　修士課程修了</td></tr>
<tr><td>高専学歴</td><td colspan="4">ある場合は高専名（例：○○高等専門学校 卒業）を記入し，無い場合は“なし”と記入してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">職歴</td><td>※</td><td>西暦年月</td><td colspan="2">勤務先，所在地，地位・職名，業務内容</td></tr>
<tr><td></td><td>0000 年 00 月
～0000 年 00 月</td><td colspan="2">（記入例）
○○建設，大阪府，工事長、都市土木構造物の施工管理</td></tr>
<tr><td></td><td>年　月
～　年　月</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td>年　月
～　年　月</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td>年　月
～　年　月</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>①</td><td>年　月
～　年　月</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td>年　月
～　年　月</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>②</td><td>年　月～</td><td colspan="2">最終行は現在の職について記入してください。</td></tr>
</table>

（別紙）

職務実績①	選択した職歴①について，当該職務での立場，役割，業務実績等を具体的かつ簡潔に記入してください。（300 字程度）
職務実績②	選択した職歴②について，当該職務での立場，役割，業務実績等を具体的かつ簡潔に記入してください。（300 字程度）
教 育 実 績	教育機関に限らず，企業内研修，業界団体等主催の講習会等での教育実績があれば，主催者，対象者，テーマ，内容（講義，実習・演習，現場指導，研修テキスト・マニュアル作成等），成果等を記入（100～150 字程度）し，無い場合は“なし”と記入してください。
申 込 理 由	当該プログラムで修得したいスキル，実務家教員を志す理由，実務家教員としてのキャリアパス希望等について，自由に記入してください。（200 字程度）
教材作成・教育実習の希望テーマ	当該プログラムでは，「教育能力養成講座」で各人の実務経験や実務能力を活かした教材を作成し，「実証講座教育実習」で実際に教育指導・評価を行います。どのようなテーマで取組みたいか，希望を記入してください。（文字数制限なし） 例：〇〇大橋拡幅工事の経験を踏まえて「橋梁の幅員拡幅工事の設計的要点」や「橋梁の幅員拡幅工事の施工的要点」をテーマに教材作成を考えている。
通　信　欄	現在の勤務環境，勤務状況，当該プログラム受講に係る勤務先からの理解・支援の有無，健康状態等について，必要に応じて記入してください。（文字数制限なし）

※ 職務実績を記入する職歴を２つ選択し，職務実績に対応する番号①，②を記入してください。

★ 赤文字は注意事項，記入要領，記入例等です。削除の上，黒文字で記入してください。

★ 本様式は２ページで作成していますが，必要に応じて３ページ以上になっても構いません。